

道路整備促進期成同盟会 高知県地方協議会

令和5年8月10日(木) 提言活動報告

道全協
こうち

令和5年8月10日(木)、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保などについて、国に対して提言活動を行いました。

提言項目

- 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化
- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源をこれまでのペースを緩めることなく、例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること
また、改正国土強靱化基本法を踏まえ、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的・安定的に取り組むこと
- 一、高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化とダブルネットワークの構築及び開通予定時期の早期公表

【提言概要】

●提言項目の説明等(池田会長)

- ・本県の8の字整備率は約6割とこれから。しっかりと進めなければならない。
- ・高規格道路の整備を進めるためには、新たな財源の確保が必要。
- ・昨日も本県で線状降水帯が発生。激甚化・頻発化する自然災害等への備えのためにもダブルネットワークの構築が重要。

●高速道路の延伸を見据えた

まちづくり等(中平副会長)

- ・宿毛市では高規格道路の延伸を見据えて防災拠点の高台移転を進めており、未事業化区間の事業化は不可欠。
- ・8の字が整備されれば、高知新港から車で移動出来る2時間圏域が広がり、四万十川等観光地へのアクセス性が向上。地域経済の活性化に繋がる。

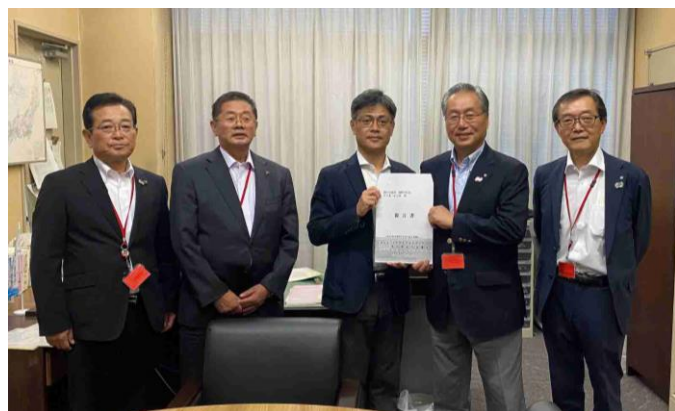
【提言概要】

●子育て環境の改善等(横山副会長)

- ・8の字整備による定時性・速達性の向上は、検診や出産のための移動に伴う精神的、体力的負担の軽減につながる。
地方の子育ての面からも大きく寄与。
- ・四国で一番小さなまち田野町では、高規格道路の延伸を見据えて防災機能を有する道の駅へ強化・拡張すべく計画を進めており、未事業化区間の早期事業化、早期整備が重要。

●国道33号の整備促進(小田副会長)

- ・国道33号は8の字を補完し、南海トラフ地震発生時には、愛媛県側からの救援ルートとなる重要な道路。
- ・これまでの道路整備や「まきのさんの道の駅」の開駅により、観光客の入込が回復。
- ・しかしながら、更なる道路整備が必要なため、8の字と併せて、予算の確保をお願いします。



左から、横山副会長(安芸市長)、中平副会長(四万十市長)、佐々木次長、池田会長(中土佐町長)、小田副会長(越知町長)

国土交通省 佐々木道路局次長からは、

- 8の字ネットワークで言えば東西の2箇所とあと少し。
- まだまだ事業中の区間もあるので、まずはそこをしっかりとやらせて頂く。
と力強いお言葉をいただいた。



左から、横山副会長(安芸市長)、中平副会長(四万十市長)、山下室長、池田会長(中土佐町長)、小田副会長(越知町長)

財務省 主計局

山下公共事業企画調整室長からは、

- 限られた予算の中で優先順位を付けながら進めていく。
- 頂いたお話も踏まえながら、国交省と調整していく。
とご理解あるお言葉をいただいた。